

## 都知事候補者の方へのアンケート回答

### アンケート項目とその回答

1. あなたは現時点で東京オリンピック・パラリンピックを2021年7月に行うべきだと思いますか？

- ①当初の予定通り、完全な形で行うべきだ
- ②縮小開催で行うべきだ
  - ア. 種目数を減らしての開催
  - イ. 無観客での開催
  - ウ. その他の方式
- ③現段階で中止すべきだ
- ④コロナ状況を見ながら秋までに決定すべきだ
  - ア. 実施の場合の条件は？
  - イ. 中止の場合の条件は？
- ⑤その他

●宇都宮けんじ：④国際的な感染の状況を踏まえ、内外の専門家の意見に従います

●小野たいすけ：①②

●石井均：①

●服部修：⑤開催するかどうかは、IOCが決めることで都知事が判断することではないと思われます。ウ種目ごとに、観客を入れるか入れないかなど個別に検討すれば良いと考えます。

2. あなたは延期で実施する場合の追加費用も含めて、東京オリンピック・パラリンピックにかかる経費についてどうお考えですか？ 複数回答可

- ①適正なものだ
- ②過大な費用をかけすぎている
- ③費用の流れが不明朗で市民に説明できていない
- ④オリパラの費用はコロナ対策に回すべきだ
- ⑤その他

●宇都宮けんじ：②小池知事は費用を減らす、そのために会場なども変更すると約束しながら、全く実現しませんでした。

③、④中止となったときは、削減できた費用はコロナ対策に回すべきだという立場です。損害額を減らすためにも、最終的な判断はできる限り早めに行うべきだという立場です。

●小野たいすけ：⑤現時点で不明であるが、事後行政評価を客観的に行い、情報公開を徹底する

●石井均：②しかしいままさら無駄遣いを取り戻せない

●服部修：①

3. 竹田前JOC会長をめぐる招致疑惑は解明されないままの状態で行われようとしています。あなたはこの事態についてどうお考えですか？

- ①外国の検察当局の追及を見守りたい
- ②日本の検察も含めて徹底究明すべきだ
- ③すでに究明が終了した案件でありこれ以上の究明は必要ない
- ④その他

●宇都宮けんじ：②

●小野たいすけ：①都議会で調査等をするのであれば、見守りたい

●石井均：回答なし

●服部修：②

4. 東京も含めてオリンピック・パラリンピックについてあなたが市民に特に訴えたいことがありましたら短くお書きください。

●宇都宮けんじ：多くの都民がオリンピックを楽しみにされていたことと思います。しかし、世界的な感染が一年で終息するということは、かなり困難であり、世界中からアスリートと観客を東京に集めるということは、かなりハードルが高いと思います。専門家が困難と判断したときは、I O C（国際オリンピック委員会）に中止を働きかけ、中止になったことで浮いた予算はコロナ禍で被害にあった都民の支援に回したいと考えています。

●小野たいすけ：オリパラ中止を公言する有力候補が増えたが、中止はなんとしても避けるべきである。ここまで努力をしてきた関係者・アスリートはもちろん、経済的なダメージも計り知れない。2024年開催も視野に確実な開催を私は提言する。

●石井均：回答なし

●服部修：楽しみにしていた方や、準備していた方の為にも延期した分、よりよいオリンピック開催に向けて動いたら良いかと思います。とにかく、選手の体調、メンタル面が一番気にすべき事なので選手の声、現場の声も聞きながらいろんな事を決めていく事が必要と考えます。

作成：2020オリンピック災害おことわり連絡会